

6. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（－：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (東海)	◎	百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・富裕層の購買が活発である。
	○	一般小売店〔酒類〕（経営者）	来客数の動き	・飲食店への先の予約が安定して入ってきている。
	○	スーパー（店長）	来客数の動き	・販売促進の強化を図り、週末を中心に来客数が増加傾向にある。
	○	スーパー（店員）	販売量の動き	・他店と比べ安価で提供していることで競合先との差別化ができています。
	○	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・事業拡大や従業員の採用拡大のため、制服を新調する客の来店が増えている。
	○	衣料品専門店（売場担当）	販売量の動き	・衣料販売店では、2～3月がスーツ類における1番の繁忙期となる。前月や今月はレディース商品が大幅に売れた。競合他社に比べて少し安価であることや良質なことが要因とみる。また、女性ファッション誌とコラボした商品が、当店では1番高価であるにもかかわらず最も売れた。既に在庫がなくなり完売した点から考えると、ブランド力が訴求されていると判断する。メンズ商品はそうではなく、近隣のファストファッションブランドで済ませる学生も多い様子である。
	○	家電量販店（店員）	単価の動き	・高単価なノートパソコンが当たり前のように選ばれている。
	○	家電量販店（フランチャイズ経営者）	販売量の動き	・家電の2027年問題でエアコンと照明器具が売れている。また、市のクーポンも来客数増加につながっている。
	○	家電量販店（営業担当）	来客数の動き	・今月は来客数が前年よりも伸びている。3か月前と比べても、来客数や購入客数共に伸びている。
	○	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・今月は決算月ということもあり、業界全体で需要が増加した。
	○	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・季節性とは関係なく、全体的に動きが出てきた印象を受ける。成約も比較的多く、問合せも出てきている。今までになくくらい今月は良かった。
	○	観光型ホテル（支配人）	来客数の動き	・中国からの宿泊利用者は減少傾向である。ただし、その他の国の利用者や日本人利用者が増加し、前年を上回る水準で推移している。
	○	都市型ホテル（総支配人）	来客数の動き	・レストランは春休みのためランチが好調である。宿泊はF1と春休みが重なり繁忙期となる。宴会は歓送迎会需要が減り、他の需要がつかめず不調である。
	○	旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・中東情勢の関係の変化が3月中旬以降であったため、春の旅行は少し良かった。
	○	旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・ミラノ・コルティナオリンピックやWBC（ワールド・ベースボール・クラシック）が終わり、天候が暖かくなってきたため、客の動きが少し活発になっている。実施は5月以降の仕事だが、このような判断とした。
	○	美顔美容室（経営者）	販売量の動き	・最近日ざしが強くなってきているため、ホワイトニングの購入が多くあった。
○	その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（営業）	販売量の動き	・量は増えているが、それに見合った人材がいない。	
□	商店街（代表者）	お客様の様子	・インバウンドが減少したため飽和状態からちょうどよい状態になった。商店街全体がゆったりとした空間となり、飲食・物販共に売上が増加している。	
□	商店街（代表者）	お客様の様子	・客は商品購入にかなり慎重になっており、財布のひもは固い。見積りを出しても結局決まらないことが多く、厳しい状況が続いている。	
□	一般小売店〔生活用品〕（販売担当）	販売量の動き	・3月のギフト需要が著しく落ち込んでいる。	

<input type="checkbox"/>	百貨店（売場主任）	お客様の様子	・春休みに入り、前月よりも来客数が増えている。新入社員や入学式用に靴を買いに来店する客が、平日少し増えた。靴のケア用品や送別品、プレゼントを買いに来店する客が増えたため、単価は低めだが、売上は少し上がっている。靴の単価は、2万円から3万5000円ほどの価格で探している客が多い。
<input type="checkbox"/>	百貨店（総務担当）	お客様の様子	・常連客を中心に高額商品の購買意欲が高い。また、若年層の来店が多く、売上につながっている。朝晩はまだ寒いため、なかなか春物衣料品の動きが活発化しておらず、衣料品関係は苦戦している。中東情勢の関係で消費意欲が下がると想定していたが、今のところ大きな影響はない。
<input type="checkbox"/>	百貨店（営業企画担当）	お客様の様子	・商品単価は上昇傾向だが、来客数、購買客数は増加傾向である。
<input type="checkbox"/>	百貨店（販売担当）	お客様の様子	・テナントビルの施策により来客数が増え、買上につながる場面がみられた。値上げ前に購入しておきたいという客も多く、高額品の動きもあった。一時的な要因も大きく、全体として安定している状況とはいえない。また、インバウンドは低迷している。
<input type="checkbox"/>	スーパー（販売担当）	単価の動き	・単価の低いお買い得な商品は動きがよいが、もう1品購入する様子がみられない。値上げラッシュで客単価も上がらないのが現状である。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（企画担当）	販売量の動き	・来客数の前年割れの傾向は継続しているが、客単価の上昇により売上は前年を多少上回っている状況である。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	来客数の動き	・来客数の動き方は前年と同様で、前年よりやや微増で推移している。値上げのため売上は前年より高いが、販売数は大きく減少している。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	来客数の動き	・商品の値上げにより売上金額は前年を上回る状態が続いているが、来客数は前年比2～3%ずつ下回っている。そのため、景気が上向きなのか下向きなのかという判断はできず、どちらともいえない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	来客数の動き	・新規の来店客が増えている。米価格の高騰でおにぎりの割高感があり、おにぎりの売上は低迷しているが、ベーカリーの販売が非常に好調である。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（商品企画担当）	お客様の様子	・中国系観光客の減少により、国内観光客が伸長傾向にあることから、土産品を含めて消費が活性化している。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・月の前半は半額になった冬物の単品商品を購入する一見の客が多かった。一方で、月の後半はダイレクトメールを出している客ではないものの、常連客の来店で春物が動き出した。大半の客の様子から、季節ごとに洋服を購入する、買い慣れていることが見受けられた。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・現政権になり少し良い方向に行くようにみえたが、中東情勢の関係で全てが誤算となっている。究極には悪くなっていないが、悪い方向に行っている。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・少し落ち着いたが、ガソリン価格が高騰した後に電気自動車の中古車を求める客が非常に増えた。逆に新車の売行きが下降気味になり、良いとも悪いともいえない状況である。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・販売停止の車種が多く、購入できる車種が限られている。また、購入できる車種も販売枠が限られているため、すぐに販売停止になってしまう。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔書籍〕（社員）	販売量の動き	・輸入品は為替の影響により受注量が減少しているが、新年度向けの受注は平年並みに堅調である。
<input type="checkbox"/>	高級レストラン（経営企画）	来客数の動き	・季節性の影響はあるが、平日の夜の動きが前年より厳しい。
<input type="checkbox"/>	その他飲食〔ワイン輸入〕（経営企画担当）	お客様の様子	・物価の上昇やガソリン価格の高騰等、客との会話からは消費にネガティブな印象を受けるものの、フェアやイベントの集客は前年比で1～2%増加しており、順調に推移している。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（経営者）	単価の動き	・中国の渡航自粛要請による影響などが一部あるが、全体として大きな変化には至っていない。

□	旅行代理店（経営者）	それ以外	・駅前の大規模ビルの閉店により来街者が減る。一方で、別のビル等にも人が増えている様子はない。一部のレストランは昼間帯は満席になっているが、同時時間帯であっても空席が目立つ店もある。また、閉店時間を一斉に1時間前倒しにする等、人件費抑制と売上減少とのバランスを取り始めている。
□	旅行代理店（営業担当）	お客様の様子	・中東情勢による原油価格高騰や物価高騰、また、中東や欧州の渡航不安により海外旅行の渡航者は減少している。一方で、国内旅行は旅行代金を値上げしているが、極端な旅行者数の減少は見受けられない。春の行楽シーズン到来のため花見や近郊への旅行はそれなりに需要がある。
□	タクシー運転手	お客様の様子	・中東の情勢が不透明である。
□	テーマパーク職員（総務担当）	来客数の動き	・今月は天候にも比較的恵まれたため、春季イベントの集客が好調であり、入園者数は月次の目標に到達した。支出面では、あらゆる費目の削減を図り、できる限りの赤字抑制に努めた。
□	観光名所（案内係）	お客様の様子	・なじみの客が減っている。また、1人当たりの単価もこれまで3000円だったが、2000円台になっている客が多く見受けられる。
□	パチンコ店（経営者）	販売量の動き	・前年と比べれば少し売上の減少がみられるが、計画の範囲内となっている。
□	パチンコ店（従業員）	来客数の動き	・来店客の多くが高齢者層であり、来店訴求ができる要素が少ない。
□	美容室（経営者）	お客様の様子	・客との話題が、レジャーやイベント等よりも物価高の話が多いため、景気は変わらないと判断した。
□	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・販売量は変わらない。
▲	一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・観光バス利用の団体観光客の復活が目立ってきている。中東情勢の影響で原油価格の高騰を招き、世界情勢が大規模な国際的衝突を招きかねない様相を示しつつある。せっかくの景気回復もお先真っ暗の状況である。今月前半は好調であったが、後半は悪い。
▲	一般小売店〔生花〕（経営者）	販売量の動き	・卒業や退職、離任式等の花は前年よりやや落ちた。お彼岸用の花も、数量や金額共に10%程度少なかった。お彼岸の売上は年々僅かではあるが減ってきている。
▲	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・必要な物しか買わない傾向がますます強くなっており、金額に対してシビアになっていることから購入に至るまでが厳しくなっている。
▲	スーパー（店長）	お客様の様子	・原油価格の高騰により生活防衛のための買い控えがある。
▲	スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数が前年を超えることができていない状況である。
▲	スーパー（店員）	単価の動き	・急激なガソリン価格の高騰が家計を圧迫しており、買い控えが発生し始めている。春を迎え暖かい気候になり、商品の劣化を考えて必要な分だけ購入する様子が見受けられた。
▲	スーパー（店員）	来客数の動き	・競合店がオープンしたため3か月前より来客数は減っているが、大幅な減少ではない。
▲	スーパー（販売担当）	来客数の動き	・今までより在庫数が多くなっており、来客数が減ったと判断する。
▲	コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・今までは来客数減少を値上げによる客単価の上昇で補っていたが、客単価で補い切れなくなってきている。
▲	コンビニ（エリア担当）	お客様の様子	・例年は春先の気温が高くなるときに需要が伸びるはずのおにぎりや飲料等の販売が鈍化している。また、商品の相次ぐ値上げにより、客が必要な物以外の商品を買って控えるようになっている。
▲	コンビニ（店長）	来客数の動き	・また一段階、来客数が減少した。値上げにより客単価が高水準となり日販数値は前年度より高いが、本来あるべき姿ではなく将来性がない。コンビニは、今や気楽に寄れる店ではなくなっている状態が散見される。

▲	コンビニ（店長）	販売量の動き	・例年のように、気温の上昇とともに来客数は増えてきた。ただし、売上の伸びは、来客数の伸びより小さい。
▲	コンビニ（本部管理担当）	来客数の動き	・今月の売上は前年比99.6%という結果であった。これまで継続してきた物価高の影響により、客単価の上昇が売上を支える構造が続いていたが、ついに来客数の減少幅がそれを上回り、前年実績を割り込む状況へと転じている。この来客数減少の背景には、紛争等の国際情勢の不安定化に伴うインバウンド需要の減退が関わっていると推察される。同様の現象は小売業全体にも波及し始めているとみる。いずれにしても、3か月前と比較して状況は明らかに悪化の兆しである。
▲	衣料品専門店（販売企画担当）	競争相手の様子	・競合先にも廃業する企業が何社か出てきた。
▲	乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・原油価格の高騰を受けガソリン価格が急騰した。政府の対策が施行された後は価格が落ち着きを見せているが、価格高騰を実際に経験すると今後に対し不安な気持ちになる。多くの生活必需品の価格がこれまで上昇している実感があるなかで、今後も上昇が続くと考えると、賃上げによる気持ちの高まりは相殺されてしまう。
▲	乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・この時期は繁忙期ではあるはずだが、中東情勢による原油価格高騰の影響なのか、また、環境性能割が4月以降廃止になる影響なのか、客に車を買換える雰囲気が見られず、販売量も落ちている。
▲	その他専門店〔貴金属〕（経営者）	来客数の動き	・理由は分からないが、来客数が減少し、貴金属の売上も低迷している。金の価格高騰や円安が影響しているとみる。
▲	一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・当店の客は高齢であるため、退職者や年金生活の人が多く、財布のひもは固い。
▲	その他飲食〔仕出し〕（経営者）	単価の動き	・物価高の進行が徐々に影響を強めている。
▲	観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・3か月前は個人客・団体客共に来客数が前年比7～10%程度増えていたが、直近は前年比7～10%程度減少傾向にあり、景気はやや悪い。
▲	旅行代理店（経営者）	来客数の動き	・中東情勢により海外渡航は顕著に鈍化している。国内旅行の意向があるわけでもなく、更に鈍化している。
▲	旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・中東情勢による運賃や燃油サーチャージの値上げ、また、一部中東経由路線の運休や燃料費高騰を見越しての運休、減便が4月以降に始まる。いつまで続くか分からないため、価格面以外にも欧州旅行の懸念が出てきている。国内需要に関しても、一時的には補助金によりガソリン価格が下がったようにみられるが、ガソリン価格の高騰など、4月以降のレジャーシーズンに不安材料が尽きない。
▲	タクシー運転手	お客様の様子	・午前中に通院する客がなぜか少なくなり、昼間の客足が遠のいている。また、夜の繁華街の人出はそれなりにあるものの、期待できる売上につながる客が少なく、深夜になる前にバスや電車で帰宅する客が多いため、売上が悪い日が多々ある。
▲	通信会社（企画担当）	販売量の動き	・新規契約件数、解約件数共に前月、前年同月と比べて、目に見えて悪化している。
▲	テーマパーク（職員）	単価の動き	・ガソリン代の高騰で買い控えが発生している。
▲	テーマパーク（職員）	お客様の様子	・中国やイランからのインバウンドが減っており、燃料費の高騰で国内旅行も控える雰囲気である。
▲	理美容室（経営者）	来客数の動き	・客が余り来ない。
▲	美容室（経営者）	お客様の様子	・物価高騰の影響が大きい。特に石油関係だが、それ以外にも全ての物に関して物価が上がっている。

	▲	その他サービス [介護サービス] (職員)	販売量の動き	・介護保険サービスも、価格の安い方へどんどん流れていってしまう。福祉用具のレンタル価格は、新機能搭載の新商品が出て、従来品の価格に引っ張られ、仕入れに対して適正に設定できない状況にある。
	▲	住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・天候が暖かくなり、季節柄、人が動き出す時期だが、今後の工事費が上がる可能性があり、住宅ローンの金利も上がる可能性がある。このような状況で不動産購入を決めきれないとみている。ネットをみていると売却されている不動産は多い印象を受ける。売れていかず市場に残っている様子を見ると景気が悪くなっているとみる。
	▲	住宅販売会社 (従業員)	それ以外	・中東情勢の行く先が不透明である。また、原油価格は我が国の全てのものに影響するため、買い控えの動きになっているとみる。
	▲	その他住宅 [住宅管理] (経営者)	それ以外	・住宅の解体費用が継続して上昇しており、坪単価、パッカー車1台当たりの単価の両方で、2～3割高にとどまらず、ほぼ倍近く値上がりしている。どの業者に聞いても、重機を維持するためには人件費の上昇や物価高が止まらない限り経営が苦しいとの説明があった。これでは空き家がどんどん増え、空き家問題の解決には至らない。
	×	商店街 (代表者)	お客様の様子	・中東情勢により、ガソリン価格が、1日にして1リッター当たり30円も上がった。そのため、物価がこの先著しく上がる不安がある。また、賃金が上がるわけではないため、今後の経済状況は厳しい。
	×	百貨店 (経理担当)	それ以外	・中東情勢の緊迫化に伴う原油価格高騰が、ガソリンに加え生活用品の価格上昇を招いており、富裕層を含めた全所得層が生活防衛に回るなど消費マインドが大きく低下している状況にある。
	×	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・3～4月は特に支出が多く、外食に利用できる金も限られてくるため、来客数が非常に減っている。
	×	美容室 (経営者)	お客様の様子	・3月に入ってもまだ寒く、客足の伸びが悪い。
	×	住宅販売会社 (従業員)	それ以外	・今まで休めないといっていた下請業者が休めるようになった。
企業 動向 関連 (東海)	◎	—	—	—
	○	窯業・土石製品 製造業 (社員)	受注量や販売量の 動き	・半導体関係の客が設備を増強したため、受注量が増えている。ニッケル水素電池関連の受注量も安定しているため、好調が続いている。
	○	一般機械器具製 造業 (営業担 当)	受注量や販売量の 動き	・北米地域における半導体関連設備の投資意欲は衰えることなく、引き合い・受注共に好調である。
	○	輸送用機械器具 製造業 (品質管 理担当)	受注量や販売量の 動き	・生産計画上の数値が右肩上がりになっているため、やや良くなっている。
	○	輸送業 (従業 員)	受注量や販売量の 動き	・3月に入り、新年度前の駆け込み需要なども功を奏してか、貨物量は例年と比較してもやや伸びている。
	□	化学工業 (営業 担当)	受注量や販売量の 動き	・AI関連データセンター向けの電子材料薬品需要が好調である。高品質容器の出荷が増加している。
	□	化学工業 (総務 秘書)	それ以外	・物価高、初任給アップやベースアップ、円安、株高、高い金額を目にする日々に景気の上向きがある。
	□	鉄鋼業 (経営 者)	受注量や販売量の 動き	・関税問題や中東情勢など不確実な事柄が多すぎて、特に中小企業が設備投資などを控える傾向にあるため、鋼材の動きは極めて低調で推移している。
	□	電気機械器具製 造業 (企画担 当)	それ以外	・今後予測される物価高に対する防御策として、前倒しの消費があったり、逆に不要不急の消費を抑えている流れがあったりと、消費拡大と縮小が同時に起こっている様子で、全体としては横ばいである。
	□	電気機械器具製 造業 (営業担 当)	受注量や販売量の 動き	・目立って悪化はしていないが、先は見通しが立たない。
	□	電気機械器具製 造業 (経営者)	受注量や販売量の 動き	・業種によって若干のばらつきは感じるが、全体量としては生産量や受注量は共に横ばいである。特に目立っているのは、船舶関係は好調を維持しており、自動車関連はやや陰りがみえることである。

□	建設業（役員）	受注量や販売量の動き	・通常、3月は不動産業界にとって繁忙期だが、今年は静かな3月だった。
□	建設業（営業担当）	取引先の様子	・インフラ業等を行っていても、値上げは必要になる。また、燃料費の高騰等も考慮すると、地域の住民を含め景気は停滞し出す。付き合いのある業者からは、販売価格や材料費が上がる事が多いと仕事がなかなか増えないと聞く。補助金の申請内容からは仕事が発生する可能性はあるが、物価高は引き続き変わらないため、景気は変わらない。どちらかというとなりがり気味である。
□	輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・今月上旬は荷動きが目立たなかったが、後半に入って一気に増え始めた。元々運送業は3月が繁忙期のため、終わってみれば前年並みとなる見込みである。
□	通信業（法人営業担当）	それ以外	・観光客ではなく、我が国に住んでいると思われる外国人が増えている印象を受ける。通勤電車等、日常生活に外国人を感じる事が多くなった。特にベトナムやタイ、フィリピン等、これまで我が国の物価高ゆえに日本在住を諦めていた外国人が、円安やデフレ効果の恩恵を受けて日本で仕事をしたり、勉強している割合が高くなっているとみる。外国人割合の増加は実感しているが、それに伴って景気が上向きになった感覚はなく、横ばいである。
□	金融業（企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・中小企業は大手ほど賃上げの体力はなく、中小企業にまで賃上げが浸透していかないと景気は良くならない。報道にあるような中小企業の賃上げは、まだごく一部とみる。
□	不動産業（経営者）	それ以外	・例年よりも晴れの日が多いこともあり、前月までと同様に外出や遠出をする人が増加傾向にある。今月の売上は前年を上回っている。
□	広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・物価上昇が相変わらず続いていることもあり、広告受注における大きな変化は特になく、全体的に変わっていない。
□	新聞販売店〔広告〕（店主）	受注価格や販売価格の動き	・販売価格が下がっている商品もあるが、価格はそのままで内容量の減量等、実質的な値上げがされている商品もある。賃貸の契約更新に伴い、店舗を閉める飲食店をよく見掛ける。
□	会計事務所（職員）	それ以外	・通っているスポーツジムの有料ロッカーが、少し前までは空きが多かったが、今は少し埋まってきている。一方、劇場公演のチケットが比較的取りやすくなっている。どこに金を使うかの違いが出ているとみるが、全体としては変化はない。
□	その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・ここ数か月、新しい仕事は発生していない。世界が不安定なため、様子見の状況である。電気自動車への信認が世界的に取れていないため、全体的に前に進めない状況である。
▲	食料品製造業（社員）	取引先の様子	・個人消費に対しての販売に変化はないが、飲食店に対しての販売は動きが悪くなっており、飲食店に卸している一部酒販店の販売数量が低下している。
▲	食料品製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・原油価格高騰のニュースなどで消費者の購買意欲は更に減退している。
▲	パルプ・紙・紙加工品製造業（顧問）	受注量や販売量の動き	・天候不順のため青果物、農産物関連が不調である。また、全ての物価が上昇し、中東情勢や中国問題等もあり、受注量や販売量が全般的に減少している。そのため、景気はやや悪い。
▲	金属製品製造業（従業員）	取引先の様子	・協力工場や同業間では、仕事量が減りつつあるという声が多く、仕事の取り合いになりかねない。
▲	電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・現在、客先業界の景気は良くない。設備投資に慎重であるため、全体として出荷が減っている。また、仕入価格の高騰が販売価格へ転嫁できないため、仕入価格の高騰が大きなダメージとなっている。
▲	輸送用機械器具製造業（管理担当）	それ以外	・中東情勢の影響でガソリン代が高い。そのため、出勤や外出に対しての負担が増えている。

	▲	輸送業（経営者）	それ以外	・中東情勢の影響により軽油価格が乱高下している。インタンク向けのローリー価格がスタンド価格を30円上回る逆転現象が発生している。また、この値段で今発注しないと供給保証できない等、卸からの情報が二転三転している。荷主も現段階で燃料サーチャージに応じる気配はない。いずれにしてもコストアップしており、大変厳しい。
	▲	輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・国内物量が製造業を中心に落ち込んでいる。
	▲	金融業（従業員）	取引先の様子	・女性が首相になったということで、新たな希望の兆しがあったが、今回の中東情勢の影響により、ガソリン価格が高くなり、国民の負担が大きくなってきている。当地域は車社会であるため、特にこのような状況が生活費を圧迫することになる。そのことから、現在の景気は余り良くないと判断する。
	▲	金融業（従業員）	それ以外	・身の回りの様子から、中東情勢の緊迫化により景気が悪くなり、物価の上昇も続いていると考える。
	▲	公認会計士	取引先の様子	・中東情勢の影響により、個人消費を中心に消費意欲が減っている。特に石油の値上がりにより輸出入産業や運送業などは利益率が悪化している企業が多い。コスト削減の方向にかじを切る企業が増えており、アウトソーシングなどを解約し内製化する企業も増加傾向にある。
	×	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・販売数量が減少しており、仕入れがしにくい材料が出てきている。
	×	通信業（総務担当）	それ以外	・身近な購買品と生活必需品の価格高騰で、生活に余裕がない。特に食用油、自動車燃料が中東情勢の影響を大きく受ける。予想外の世界情勢が影響し、景気に明るい話題がない。
雇用 関連 (東海)	◎	—	—	—
	○	人材派遣業（営業担当）	周辺企業の様子	・中東情勢により原油価格高騰の影響を受け、中小企業を中心に業績悪化の傾向がある。ただし、政府のガソリン補助金等の支援により、最悪の流れにはなっていない。
	○	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・送別会の利用が多く、また、新年度の新社員研修が増えている。
	□	人材派遣会社（営業担当）	採用者数の動き	・年度末に向けて求人数は増加傾向である。ただし、求職者数は微増で、採用数は例年のような増加が見込めない状況である。
	□	人材派遣会社（営業担当）	それ以外	・世界情勢の混乱などで、不安定な状況が続いている。
	□	アウトソーシング企業（エリア担当）	周辺企業の様子	・自動車販売数は前年の横ばいで推移した。ただし、中東情勢の影響により、今後は情勢緊迫化がガソリン価格の高騰や部品供給における生産体制に影響を及ぼし、販売にブレーキが掛かると懸念される。
	□	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	周辺企業の様子	・物価高やエネルギー不安のため会社の業績に影響がありそうだが、求人活動への影響は限定的にみえる。
	□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は3か月前と比較して、全体的に7.14%の増加状況であった。産業別では、建設業、卸売小売業、宿泊業・飲食サービス業や教育・学習支援業、複合サービス事業の新規求人数が増加し、運輸業・郵便業、生活関連サービス業・娯楽業の新規求人数は減少となった。
	□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・人手不足は継続しているにもかかわらず、求人数は減少している。物価の高止まりや人件費高騰等、求人を手控える要素が多いことに起因している。
	□	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・少なからず物価高の影響を受けているものの、求人状況に対して直接の影響はみられない。一方で、大手企業を中心とした初任給の大幅な引上げにより、学卒の採用が難しくなっているという声がある。

□	職業安定所（職員）	求職者数の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最近の求職者数は、増減はあるものの大きな変動はみられず、前年同月比ではもおおむね横ばいで推移している。そのため、身の回りの景気が大きく好転や悪化している印象は受けない。また、新規求職申込件数も前年同月と比べて急激な増加や減少はなく、雇用情勢として安定している。企業側の求人動向も一部で増減があるものの、総じて大きな流れの変化はみられない。</li> </ul>
□	職業安定所（職員）	それ以外	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有効求人倍率に大きな変動はみられない。</li> </ul>
□	民間職業紹介機関（営業担当）	求職者数の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度をまたぐタイミングのため求職者数の転職活動意欲は徐々に減退している。また、法人側も利益確保の観点で、来期中途採用において厳選採用方針で進める声も出ている。</li> </ul>
▲	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車関連の求人ニーズは一定数ある。ただし、年度の変わり目で予算の見直しを行い、4～5月での業務終了が急ぎよ決まる事案もあった。</li> </ul>
▲	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管内の中心産業であったアパレル製造又は卸売業の廃業等が年度当初から引き続き発生していることや、それ以外の建築業といった産業での廃業等が複数発生した。</li> </ul>
×	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1～2月と比較すると新規登録者数は増加傾向にあるものの、同業他社との競合や転職意向が低い求職者の登録が目立ち、成約に至らないケースが多い状況である。</li> </ul>